

# 平和の動的理解と市民の勝手連運動の大切な役割

## — 支えあう平和博物館と市民ボランティア —

「平和」は「戦争の不在」から「暴力の不在」へと再定義され、「暴力」は人間能力の開花を阻む原因として、直接的・構造的・文化的暴力に類型化された。だが、少なからぬ人々は、「暴力の不在」などあり得ないと考え、平和はしょせん絵に描いた餅に過ぎないという。この講演では「平和」の意味をもっと動的にとらえ、平和創造の主体形成の視点から「平和友の会」をはじめとする市民運動の役割を考える。

講師

**安齋育郎** 先生

立命館大学国際関係学部教授  
国際平和ミュージアム名誉館長

東京大学工学部原子力工学科卒業、工学博士。  
1986年より立命館大学経済学部教授、88年より  
国際関係学部教授。2005年より特命教授・名誉教  
授。1992年の国際平和ミュージアム設立とともに  
館長代理、95年より館長を務め、現在名誉館長。

主催 平和友の会

共催 立命館大学国際平和ミュージアム

問い合わせ

(tel・fax) 075-801-1990 (平和友の会)

平和友の会は、1993年11月発足。国際平和ミュージアムを  
拠点として、常設展示ガイド、学習会、会報発行、他団体と  
の交流などの活動をしている市民グループです。

2011年

3月26日(土)

13:30~16:00

立命館大学

国際平和ミュージアム

2階会議室 (80席)

京都市北区等持院北町56-1

アクセス

- ◇JR京都駅・近鉄京都駅より  
市バス50 立命館大学前下車  
市バス205 わら天神下車
- ◇阪急電車西院駅より  
市バス205 わら天神下車
- ◇京阪電車三条駅より  
市バス15、59 立命館大学前下車
- ◇嵐電(京福電車) 等持院駅下車